

2026年3月31日

各 位

株式会社三井住友銀行

相鉄ホールディングス株式会社へのシンジケーション方式による
「サステナビリティ・リンク・ローン」の組成について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、相鉄ホールディングス株式会社（代表取締役社長：加藤 尊正/以下、「相鉄ホールディングス」）と、2025年7月28日および2026年2月24日に、シンジケーション方式によるサステナビリティ・リンク・ローン（以下、「本ローン」）契約を締結いたしました。株式会社三井住友銀行はアレンジャーとして相鉄ホールディングスより指名を受け、本件を組成いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手のサステナビリティ戦略と整合したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下、「SPT」）を設定し、貸出条件と SPT に対する借り手のパフォーマンスとを連携させ、SPT 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動及び経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

相鉄ホールディングスは相鉄グループの持株会社であり、同グループは運輸業、流通業、不動産業、ホテル業、その他の分野で事業活動を展開しています。生活に密着したサービス・お客さまのニーズを捉えた裾野の広いサービスを提供し、地域社会の発展に貢献しています。

相鉄ホールディングスは「相鉄グループサステナビリティ基本方針」のもと「次世代へつなぐ地球環境づくり」「魅力ある地域の発展と共創」「働きがいと働きやすさのある職場環境づくり」「盤石なガバナンス体制の構築」の4つをマテリアリティとして設定し、持続可能な社会実現に向けた取組を進めることとしています。

相鉄ホールディングスではこうした取組を加速させるべく、2025年2月に「サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク」（以下、「本フレームワーク」）を策定しました。本フレームワークでは、同社のマテリアリティのうちの一つである「次世代へつなぐ地球環境づくり」に係る指標が KPI として採り入れられており、サステナブルファイナンスの活用により、より実効性のある取組の実行につなげていくことが企図されています。本ローン2件はいずれも本フレームワークに基づき SPT を設定し、達成への動機付けとして、SPT の達成状況に応じて金利が連動する貸出条件を設定しています。

尚、本フレームワークは、国際金融業界団体である ICMA（International Capital Market Association）によって策定された「サステナビリティ・リンク・ボンド原則」、LMA（Loan Market Association）、LSTA（Loan Syndications and Trading Association）及び APLMA（Asia Pacific Loan Market Association）にて策定された「サステナビリティ・リンク・ローン原則」、環境省にて策定された「サステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン」、「サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」において求められる項目について基準を満たしているとの第三者意見を、株式会社格付投資情報センター（R&I）より取得しています。

株式会社三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成に一層貢献してまいります。

【本ローンの概要】

契約締結日	2025年7月28日、2026年2月24日
アレンジャー	株式会社三井住友銀行
貸付人	国内金融機関
SPT	相鉄グループにおけるCO2排出量を2030年度までに2020年度対比42%削減すること。

(参考)

相鉄ホールディングス株式会社ホームページ：

<https://www.sotetsu.co.jp/about/companies/sotetsu-holdings/>をご参照ください。

株式会社格付投資情報センター（R&I）による第三者意見：

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>をご参照ください。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
法人戦略部サステナブルソリューション室
TEL：03-4333-6965

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。